

〔 横浜能楽堂 〕  
平成 25 年度業務報告及び収支決算  
〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

- ※ 文中の事業欄において、  
●：主催事業。○：共催事業  
を示します。
- ※ 文中の達成指標、達成状況欄において、  
□：定量的指標。■：定性的指標  
を示します。

## 1 施設の概要

施設名	横浜能楽堂
所在地	横浜市西区紅葉ヶ丘 27-2
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上2階地下2階建
敷地・延床面積	建築面積1,771㎡ 延床面積5,862.53㎡
開館日	平成8年6月28日

## 2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成24年4月1日から平成29年3月31日まで

## 3 指定管理に係る業務総括

### (1) 基本的な方針の総括

古典芸能の専門施設として「文化芸術による魅力・活力の創出」の役割を果たすために、芸術的価値や国際交流の点からも価値のある事業を横浜から発信することができました。

また、開館以来育んできた「敷居の低い能楽堂」という理念に対して、事業だけでなく運営面においても、市民が古典芸能に触れることができる機会を様々に展開し、市民の創造性を高める基盤整備を推進しました。

## (2) 25年度の業務の方針及び達成目標の総括

### ① 事業の総括

専門文化施設ならではの芸術・学術的に価値の高い事業として、世阿弥生誕 650 年記念企画公演「時々の花」、日本・ベトナム外交関係樹立 40 周年記念 特別企画公演「再びの出会い 二つの国の雅楽」、横浜能楽堂・沖縄県立芸術大学提携公演「琉球舞踊 受け継がれる伝統-古典・雑踊・創作-」、特別展「歌う 踊る 弾く-琉球張子・豊永盛人の世界」を実施し、多くの新聞の文化欄に大きく取り上げられるなど大きな反響を呼びました。併せて、「バリアフリー能」「横浜狂言堂」「親子能楽ワンダーランド」など社会的意義の強い事業にも取り組み、公共文化施設としての役割も十分に果たしました。

### ② 運営の総括

運営面では、ニコニコ動画での狂言の公演の実験生中継を実施し、ホームページやツイッター等の広報ツールで、国内外への発信に取り組みました。また施設見学、施設利用など柔軟に対応し、市民が古典芸能に触れる機会の拡大につながりました。

### ③ 管理の総括

管理面では設備の経年劣化進む中、日々の維持管理の中で、「安心」「安全」「快適」を提供できるように努めました。地域防災でも関連機関と連携を深め、西消防署、戸部警察署より感謝状を贈呈されました。

## 4 自主事業についての達成状況

### (1) 能楽等に関する興味や関心を広げ、理解を深めるための事業について

<p>[目指す成果]</p> <p>敷居が高いと思われがちな能楽等の古典芸能に関する興味や関心を広げ、理解を深めます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>体験・講座などを取り入れた事業から、公演としての質や芸術性の高い事業まで幅広く取組み、古典芸能に関する興味や関心の拡大につながりました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>幅広い層が鑑賞しやすいように条件整備をした「普及公演」を実施します。</p> <p>●「普及公演-横浜狂言堂」 毎月第2日曜日に開催 12回</p>	<p>[達成指標]</p> <p>「普及公演-横浜狂言堂」 □券売率 65%以上</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□「普及公演-横浜狂言堂」を毎月第2日曜日に実施しました。券売率は 97.2% (98.4%、97.9%、97.3%、98.4%、97.7%、96.7%、97.3%、96.5%、97.3%、94.2%、97.5%、96.9%)、 狂言 2 曲+演者によるお話という内容と、手頃なチケット代金で、初めての方にも気軽に楽しんでいただける公演としました。お客さまが購入すると自動的にチケットが児童養護施設などにいる子どもたちに自動的にプレゼントされる「もう一枚のチケット」プロジェ</p>

<p>●「普及公演-バリアフリー能」 1回</p>	<p>「普及公演-バリアフリー能」 □券売率 50%以上</p>	<p>クト」とを実施し、25人の子どもが狂言を鑑賞しました。</p> <p>□「普及公演-バリアフリー能」を3月22日に実施しました。券売率91.4%（ただし介助者チケット分を含めると72.0%）。</p> <p>協力団体や意見交換会でのご意見を参考にしながら、昨年からはじめた「視覚障がい者向け施設見学」とPSP, iPad を利用した文字配信に加え、「聴覚障がい者向け施設見学」を新たに実施したほか、従来の介助者1名無料、点字解説文、点字チケット、点字チラシの用意、舞台触図、副音声（同時解説放送）、解説時の手話通訳、詞章の用意等のさまざまなサポート体制で、障がいのあるお客さまにご来場いただきました。終演後に知的障がいの方向けの意見交換会を実施しました。</p>
<p>●「普及公演-夏休み親子能楽ワンダーランド」 1回</p>	<p>「普及公演-夏休み親子能楽ワンダーランド」 □券売率 65%以上</p>	<p>□「普及公演-夏休み親子能楽ワンダーランド」を8月3日に実施しました。券売率は96.6%。</p> <p>午前中の第1部を体験型、午後の第2部を鑑賞型とし、動きが多く楽しめる能「土蜘蛛」と教科書に掲載されている狂言「柿山伏」を1977年生まれの若手能楽師で構成するグループ「七拾七年会」の出演で上演しました。第1部は能と狂言の動きや発声と4つの楽器を体験しました。第2部の冒頭にもミニワークショップを実施したり、土蜘蛛に関するクイズを出したりして、公演により親しんでもらう工夫を凝らしました。第1部と第2部の間の時間にはいろとりどりの蜘蛛の巣を自分で作ることができる工作コーナーを設置し、ロビーに設置したパネルや書籍や展示とともに、間の時間も含めて一日丸ごと能楽に親しめる機会とすることができました。</p> <p>教育研究のため、「時々の花」第1回とともに、横浜国立大学の撮影に協力しました。</p>
<p>現代を代表する演者が出演する芸術性の高い「特別公演」の実施 ●「特別公演」 1回</p>	<p>「特別公演」 □券売率 65%以上</p>	<p>□特別公演を1月25日に実施しました。券売率84.4%。</p> <p>観世鍔之丞家当主の観世鍔之丞で「恋重荷」を詞章を見直し、上演。竹本幹夫。和泉流の人間国宝・野村萬による狂言「富士松」を上演。企画公演「時々の花」第1回</p>

<p>芸術性・学術性があり創造・発信性の高い「企画公演」、アジアを始めとした海外との古典芸能分野での国際交流事業を実施します。</p> <p>●企画公演「時々の花」 1回</p> <p>●企画公演「琉球舞踊 受け継がれる伝統」1回</p> <p>●日本・ベトナム外交関係樹立40周年記念特別企画公演1回を開催します。</p>	<p>□各公演とも券売率 65%以上</p>	<p>とともに、横浜ベイホテル東急と協力したお食事付きプランも好評を得ました。</p> <p>□世阿弥生誕650年企画公演「時々の花」 券売率 96.3 (95.7%、97.1%、96.1%)</p> <p>世阿弥が『風姿花伝』において論じた各年代における「花」に焦点を当て、若手・中堅・ベテランの演者により、その年代に演じられることで魅力が発揮できる世阿弥作品を上演しました。（「檜垣」は横浜能楽堂では初めての老女物の上演。）</p> <p>馬場あき子氏の解説も毎回好評でした。企画内容の評判も高く、7紙に記事掲載されたほか、能評も掲載されました。</p> <p>第1回青春の巻 9月1日 能「敦盛」（金剛流）金剛龍謹 解説：馬場あき子</p> <p>第2回朱夏の巻 10月26日 能「井筒」（観世流）梅若紀彰 解説：馬場あき子</p> <p>第3回玄冬の巻 12月21日 能「檜垣」（観世流）野村四郎 解説：馬場あき子</p> <p>□横浜能楽堂・沖縄県立芸術大学提携公演 「琉球舞踊 受け継がれる伝統-古典・雑踊・創作-」 券売率 85.0% 11月9日実施。</p> <p>沖縄県立芸術大学の卒業生の中で、人気・実力を兼ね備えた第一線で活躍する踊り手を選び、琉球舞踊の古典・雑踊の名曲を上演。地謡も教員と卒業生が勤めました。加えて、横浜能楽堂委嘱作品として、創作舞踊「蜻蛉（あけ-じゅ）」を新作初演。また、同じく卒業生の豊永盛人氏に「しょんだう」の面を新たにづくってもらい、使用しました。</p> <p>【出演】 立ち方：知花小百合、饒波園代、西浦綾乃、 金城真次、川満香多、佐辺良和、 新垣悟、東江裕吉、比嘉いずみ、 地謡：三線/仲嶺伸吾、玉城和樹、横目大哉、 箏/池間北斗 笛/宮城英夫</p>
--	------------------------	---

<p>公演とは違った形で古典芸能を楽しめる「講座」の実施</p> <p>●講座「この人百話一芸」 年2回開催</p>	<p>講座「この人百話一芸」</p> <p>□券売率 65%以上</p>	<p>胡弓/森田夏子 太鼓/比嘉聰</p> <p><b>【上演曲】</b></p> <p>古典女踊「本嘉手久」 打組踊「しよんだう」 若衆踊「若衆揚口説」 雑踊「貫花」 雑踊「加那よ一」 創作舞踊「蜻蛉」 横浜能楽堂委嘱作品（作・演出：嘉数道彦） 他</p> <p>□日本・ベトナム外交関係樹立 40 周年記念特別企画公演「再びの出会い 二つの国の雅楽」 券売率 73.9% 9月7日実施。</p> <p>ルーツを同じくし、共にユネスコの「世界無形遺産」にも登録されている日本とベトナムの雅楽の共演。奈良の大安寺に滞在していたベトナムの僧・仏哲が伝えた「林邑八曲」の中から舞楽2曲を南都楽所が上演したほか、仏哲の出身地であるフエのフエ宮廷伝統芸術附属雅楽団の出演が実現しました。芸術院会員である芝祐靖氏に日本・ベトナム合奏曲を委嘱し、新作初演しました。秋篠宮妃殿下にもご臨席賜りました。奈良県知事からの祝辞も届きました。</p> <p>企画内容がベトナムでも注目され、2年に一度春に開催されるフエ・フェスティバル（次回は平成26年4月開催）に正式に招聘されました。</p> <p><b>【出演】</b></p> <p>南都楽所 フエ宮廷伝統芸術劇場附属雅楽団 中村仁美（伶楽舎） 石川高（伶楽舎）</p> <p>□講座「この人百話一芸」 券売率 89.5（85.1%、94.0%） 鶴澤寛治（文楽三味線）、宝生閑（能楽師ワキ方）という人間国宝2名をゲストに迎え、年2回実施しました。 ・7月6日「文楽三味線芸三代」 鶴澤寛治（文楽三味線）</p>
--	--------------------------------------	---

<p>自らが体験する「教室・ワークショップ」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「こども狂言ワークショップ～入門編」1回</li> <li>●「こども狂言ワークショップ～卒業編」1回</li> <li>●「横浜こども狂言会」1回</li> <li>●「初めての能楽教室シリーズ『謡仕舞』『能管』『太鼓』」1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□各教室・ワークショップとも参加定員の80%以上</li> <li>こども狂言ワークショップ～入門編</li> <li>□16名以上</li> <li>初めての能楽教室</li> <li>□3教室計35名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月1日「ワキ座からのまなざし」宝生閑（能楽師ワキ方）</li> <li>□「こども狂言ワークショップ～入門編」を8/5-8/7、「こども狂言ワークショップ～卒業編」1/9-3/28、「横浜こども狂言会」3/30、「初めての能楽教室シリーズ」は「謡仕舞教室」「能管教室」「太鼓教室」10月～2月稽古、3月1日3教室合同発表会を実施しました。</li> <li>□「こども狂言ワークショップ～入門編」30名</li> <li>□「初めての能楽教室シリーズ」3教室計44名（謡仕舞20名、能管12名、太鼓12名）</li> </ul>
---	--	---

## (2) 横浜能楽堂及び能楽等に関する情報の提供について

<p>[目指す成果]</p> <p>公演情報を収集・提供し、横浜能楽堂や古典芸能の認知度を高めます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>広報媒体への働きかけや、ブログ・ツイッター、インターネット動画配信など、様々なツールを使った広報展開で能楽堂を知り、足を運んでいただく取組を行いました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●公演情報等の収集・提供</li> <li>●ブログ・ツイッターの活用</li> <li>●ニコニコ動画の活用</li> <li>●国内外の古典芸能の現状等を現地に赴き、文化・観光の視点からも調査</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□新聞、雑誌への記事掲載年間24回</li> <li>□ブログ年間24回更新、ツイッター月15回以上ツイート</li> <li>■公演の実験中継を実施し、直接来られない方へ認知度を高めます</li> <li>□今後の事業企画のための基礎調査として国内1カ所、海外1カ所調査し、今後の事業に生かしま</li> </ul>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□新聞への記事掲載年間27回（月平均2回）。</li> <li>□ブログ年間25回更新。twitter月平均27ツイート（年間計319ツイート）</li> <li>■ニコニコ動画で横浜狂言堂の生中継を6回実施しました。普段能楽堂に足を運ばない、新たな層にもアプローチすることができました。視聴者同士でコメントをしながら視聴できるという、新しい狂言の鑑賞スタイルを提供できました。（年間視聴者数3552人）</li> <li>□ベトナム、スイス、ルーマニアで調査を行いました。ベトナムではニャーニャック（雅楽）を視察。スイスでは博物館等に収蔵されている能面などを、ルーマニアではシビウ国際芸術祭を視察しました。ベト</li> </ul>

<p>● 調査研究の成果を基礎にした展示の開催</p>	<p>す。</p> <p>□ 特別展を1回開催します。</p>	<p>ナムでの調査は9月に実施した事業の内容構成に生かしました。国内は沖縄で沖縄芝居・三線・琉球芸能等について調査を行いました。</p> <p>□ 横浜能楽堂・沖縄県立芸術大学提携公演関連企画として、特別展「歌う 踊る 弾く-琉球張り子・豊永盛人の世界」を10-13-12/8に開催しました。沖縄県立芸術大学出身で、琉球張り子の伝統的技術を基に新たな世界を切り開く豊永盛人氏により、『琉球人座楽并踊之図』（沖縄県立博物館・美術館所蔵）を基に琉球張り子を新たに製作し、「江戸上り」を再現しました。沖縄関連のwebサイトやファンページなどにも情報が多数掲載されました。</p>
-----------------------------	---------------------------------	--

### (3) 能楽等の公演、練習その他の活動の支援について

<p>[目指す成果]</p> <p>利用者の公演事前準備や稽古場探し等の活動を支援することで、古典芸能の振興・普及を促します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>能楽堂利用に対するサポートや、古典芸能に関する催しの実施へのアドバイスなど、専門性を発揮しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>● 「施設を利用したい」「稽古をしたい」「公演・ワークショップを開催したい」という利用者の「実現したい」をサポート</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■ スタッフのノウハウを活用した『利用者サポート』の実施(公演事前準備支援、公演等創作支援、稽古場探し支援など)</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■ 広報やオペレーションのアドバイスや情報提供、能楽ではないジャンルで初めて能舞台をご利用の方向けに進行のサポートなどを実施しました。</p> <p>「礼法」を初めて受け入れたほか、「古典芸能鑑賞会を実施したい」という利用者からの相談で「狂言鑑賞会」実現までのサポートを行いました。また、「音まつり」登録におけるサポートも行いました。</p>

### (4) 能楽等に関する地域との連携事業について

<p>[目指す成果]</p> <p>地域団体等と連携しながら公演を行うことで、古典芸能の活性化を促します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>横浜市内の能楽愛好団体との連携や、能公演実施の連携など、古典芸能の活性化に寄与しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>地元企業・実演家・関連団体・地域団体等と連携した事業実施</p>	<p>[達成指標]</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p>

<p>○横浜能楽連盟と協力して「横浜能」を開催します。</p> <p>○ふるさと西区実行委員会と協力して「かもんやま能」を開催します。</p>	<p>□1回</p> <p>□1回</p>	<p>□「第61回横浜能」を6月1日に実施。TICADの関連のお客様3名が来場しました。能「熊野」(金剛流)豊嶋三千春、狂言「酢薑」(和泉流)三宅右近</p> <p>□「第30回横浜かもんやま能」を11月16日に実施。10月18日に市立浅間台小学校で実施された関連出前講座に協力しました。</p> <p>■紅葉ヶ丘地区で県主催で開催された「リ古典プロジェクト」に企画・広報等で協力しました。</p>
---	--------------------------	---

(5) その他について

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「芸能の宝庫・岩手の旅」ツアー企画協力</li> <li>・横浜能楽堂写真展（トロント国際交流基金センター）</li> <li>・インターン受け入れ</li> <li>・「Susuriwka」DORA 賞受賞</li> </ul>
<p>[実施内容]</p>
<p>■「東日本大震災『心と経済』の復興支援「現地で学ぶ見る感じる芸能の宝庫・岩手の旅 3日間」に大船渡市民文化会館リアスホールとともに企画協力しました。花巻・大船渡・平泉を実際に訪れ、芸能を通じて現地への理解を深めてもらうことで、復興支援の一助となることを目指しました。各地で特別プログラムを組み、それぞれの分野の専門家による解説で、充実した時間を提供できました。また、一昨年、実行委員として参加した東日本大震災チャリティ公演「古典芸能のつどい横浜」で支援した大船渡の団体と交流することもでき、被災地と参加者双方に喜んでいただきました。</p> <p>このような芸能をメインにしたツアーはこれまでになく、大船渡にとっては芸能を通じて観光客を誘致するという新しい試みとなり、今後に期待がつながりました。</p> <p>■「Yokohama Noh Theater Photography Exhibition」が国際交流基金トロントで10/15-1/31まで開催されました。(主催：国際交流基金)</p> <p>■日本女子大の学生2名と、神奈川県教職員1名をインターンとして受け入れました。</p> <p>■平成22年度に制作し、平成24年度にカナダで開催されている先住民族のフェスティバル「Planet IndegeneUs」に正式な招聘を受けた、「Susuriwka-willow Bridge」が、トロントの優れた舞台芸術を表彰するドラ賞(Dora Mavor Moore Award)で振付賞を受賞しました。また、プロダクション賞・パフォーマンス賞・音楽デザイン賞・照明デザイン賞でもノミネートされました。</p> <p>(いずれも「ススリウカ(北アメリカ初演作品)」が対象)</p>



## 5 施設の運営について

### (1) 人員配置

項目	人数	備考
名誉館長	1	非常勤
館長	1	
副館長	1	
職員	6	
補助職員	18	B1 事務所補助職員 2、1F 受付 16

### (2) 勤務体制

基本 名誉館長、館長を除き、ローテーション体制  
 主催事業や貸館内容に応じて、勤務体制を調整し、柔軟に対応します。

館長 9:30～18:15

副館長、職員 A勤務 8:45～17:30、B勤務 13:30～22:15

補助職員(B1 事務所) A勤務 8:45～17:15、B勤務 13:45～22:15

補助職員(1F 受付) A勤務 8:55～14:40、B勤務 14:30～20:15

### (3) 能楽等の公演、練習その他の活動への施設の提供について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> <li>●能舞台の制約を守りながら、能楽以外での利用(琉球芸能・邦楽・日本舞踊等)にもできるかぎり施設を提供します。</li> <li>●業務の基準に基づき、開館時間・利用料金の徴収・施設点検日の周知を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■能楽以外での利用にもこまやかに対応できるように相談窓口機能を強化します。</li> <li>■業務の基準に基づき確実に業務を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■能楽以外での利用にあたり、運営や広報だけではなく、舞台進行にもアドバイスできました。「礼法」で初めての利用を受け入れたほか、撮影利用においてもこまやかに対応しました。</li> </ul>

### (4) 利用促進及び利用者サービスの向上について

[目指す成果]		
利用者サービスの向上につとめ、利用を促進します。		
[成果についての振り返り]		
利用申込期限を過ぎてからの利用受付など柔軟に対応し、利用促進に努めました。		
[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用率向上のため、利用申込への柔軟な対応を行います。</li> </ul>	目標利用率 <input type="checkbox"/> 本舞台(日)30% <input type="checkbox"/> 第二舞台(日)70%	<input type="checkbox"/> 本舞台(日)37% <input type="checkbox"/> 第二舞台(日)60%

	<input type="checkbox"/> 研修室(コマ)25% <input type="checkbox"/> 楽屋(コマ)20%	<input type="checkbox"/> 研修室(コマ)27% <input type="checkbox"/> 楽屋(コマ)26% 貸出期限を過ぎてからの申込や、能楽以外の利用希望に関してなど、できるかぎり柔軟に対応しました。 (期限を過ぎてからの受付数：本舞台8件、第二舞台20件)
--	---	--

#### (5) 組織的な施設運営について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●施設の使命、ならびに第2期指定管理期間の政策目標を達成するために、適切な経営組織を構築と人材の確保に努めます。</li> <li>●配置されている職員ならびに補助職員については、業務を通じたOJTならびに研修等を通じてスキルアップを図ります。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 専門性向上のための研修を年1回以上行います。</li> <li><input type="checkbox"/> 「バリアフリー能」研修を年1回行います。</li> <li>■事業企画・実施、利用者対応・サービス、施設維持管理につき、体制の維持向上により質の高い施設運営を実現します。</li> </ul>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 山崎名誉館長による職員向け能楽講座を実施しました。</li> <li><input type="checkbox"/> 3月10日に「バリアフリー研修」を実施。森下浩明氏（社会福祉法人みなと舎ゆう 施設長）を講師に迎え、知的障がいを中心としたお話と接客のポイントについて、サポートの実例を交えながら学びました。</li> </ul>
--	---	---

#### (6) 施設見学等への対応について

<p>[目指す成果]</p> <p>施設見学を通じ、横浜能楽堂や古典芸能について周知を図ります。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>定期的な施設見学日や、学校関係の見学受入れなど、横浜能楽堂及び古典芸能の周知や継承につながるよう取り組みました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●施設見学日を定期的に設け、見学者を積極的に受け入れます。</li> <li>●教育機関対象に減免制度を設け、施設見学を利用しやすい環境を調べます。</li> <li>●(再掲)ブログ・ツイッターの活用</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 施設見学日を月に1回開催します。</li> <li><input type="checkbox"/> (再掲)ブログ年間24回更新、ツイッター月15回以上</li> </ul>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 毎月1回施設見学日を開催しました。学校関係の見学を4件受け入れたほか、視察依頼にも対応しました。戸部本町ケアプラザの車いす利用の入居者散歩コースとしても受け入れました。(10/28-11/1)</li> <li><input type="checkbox"/> ブログ年間25回更新。twitter月平均 27ツイート(年間計319ツイート)</li> </ul>

	上ツイート	
--	-------	--

(7) 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減や効率的運営の努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> <li>●助成金等獲得努力</li> <li>●事務経費削減の努力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□助成金獲得に向け申請手続きを行います。 獲得目標 200 万円</li> <li>■チラシの作成枚数を常に精査するなど、高い意識を持ち常に経費削減に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■沖縄県酒造組合から現物協賛を受けました。</li> <li>□助成金を 5,268 千円申請しましたが、獲得できたのは 1,900 千円でした。</li> </ul>

6 施設の管理について

(1) 保守管理業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> <li>●開館 15 年を過ぎた設備機器に対し、平成 23 年度に行われた修繕機器の稼働状況を観察しつつ、トラブルを未然に防ぐよう定期点検を実施します。</li> <li>●施設修繕の計画的な実施に努め、施設、設備の長寿命化を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■業務の基準ならびに別添資料に定められた項目につき、定められた回数の保守点検を遺漏なく実施</li> <li>□設備機器の運転停止事故ゼロ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■年間を通じ定期的な保守点検を実施しました。</li> <li>□設備の経年劣化により第二舞台の空調が停止する状況が 10 回程発生しましたが、適切に対処・再稼働対応等を行い、大きな事故にはつながりませんでした。</li> <li>■施設修繕の計画的な実施に努め、施設、設備の長寿命化を図りました。</li> </ul>

(2) 環境維持管理業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在の施設の状態を清潔に保ち、利用者が快適に利用できるように管理を行います。</li> <li>●施設周辺に配慮した植栽管理業務を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■業務の基準ならびに別添資料に定められた項目につき、定められた回数の清掃等の維持管理業務を遺漏なく実施</li> <li>□アンケートでの快適評価 4.0 以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□アンケートによる平均評価は 4.4 でした。</li> </ul>

	□施設ハード面での人身事故ゼロ	□事故ゼロでした。
--	-----------------	-----------

### (3) 保安警備業務について

[取組内容] ●業務の基準ならびに別添資料に基づき、24時間警備を実施し、利用者の入退出を適切に管理します。	[達成指標] □事故ゼロ	[実施内容と達成状況] □事故ゼロ
---	-----------------	----------------------

### (4) 駐車場管理業務について

[取組内容] ●業務の基準ならびに別添資料に基づき、施設利用者、近隣住民の安全管理のため、駐車場利用車両の安全誘導に努めます。 ●立体駐車場機能を維持するために最低限必要な保守点検を実施します。	[達成指標] □駐車場事故ゼロ □保守点検 年1回以上	[実施内容と達成状況] □駐車場事故ゼロ ■機能を維持していく最小限の保守点検も実施できないほど経年劣化が進み、今後の駐車場運営の方針を協議していたため、今年度は保守点検を実施見合わせました。
---	-----------------------------------	--

### (5) 防災等について

[取組内容] ●関連法規に基づいた届出等を遺漏なく行います。 ●「危機管理マニュアル」に基づき、災害時に観客を安全に誘導できるようスタッフの消防訓練を行います。	[達成指標] □消防訓練 年2回実施 □消防設備の取り扱い研修 年2回実施	[実施内容と達成状況] □消防訓練 7/25、1/27 に実施。併せて消防機器の取り扱い方法について研修を実施しました。
--	---	---

### (6) 緊急時の対応について

[取組内容] ●緊急時の対応を明確にし、緊急連絡網を作成	[達成指標] ■関連法令、条例、業務の基準等に基づき、適切に対応	[実施内容と達成状況] ■関連法令、条例、業務の基準等に基づき、適切に対応しました。
---------------------------------	-------------------------------------	---

<p>し、市に提出します。</p> <p>●あらゆるケースを想定し、訓練等を通じ全スタッフに対応の徹底を図ります。</p>	<p>します。</p> <p>□(再掲)消防訓練 年2回実施</p>	<p>□7/25、1/27に実施。併せて消防機器の取り扱い方法について研修を実施しました。(再掲)</p>
---	------------------------------------	---

### (7) 文化財の保護について

<p>[取組内容]</p> <p>●スタッフによる日常点検を行い、必要に応じて建築時に携わった日本建築専門業者による簡易点検を実施し、修繕を行う必要が生じた場合は教育委員会に申請します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に従い適切に管理します。</p> <p>■日常点検 随時</p> <p>■専門業者による簡易点検 日常点検等において必要と認められた時</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■スタッフによる日常点検を行ったほか、2/21に専門業者による簡易点検を実施しました。</p>
---	--	---

### (8) 公園事務所、公園用公衆便所の取扱いについて

<p>[取組内容]</p> <p>●公園事務所の鍵の管理及び公園用公衆便所の光熱水費の一時負担</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に従い取り扱います。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■業務の基準に従い取り扱いました。</p>
---	---------------------------------------	---

### (9) 広域避難場所用機材倉庫及び町内会等地域の災害対策用倉庫の取扱いについて

<p>[取組内容]</p> <p>●広域避難場所用資機材倉庫及び町内会等地域の災害対策用倉庫の鍵の管理</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に従い取り扱います。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■業務の基準に従い取り扱いました。</p>
---	---------------------------------------	---

### (10) 光熱水費の削減努力について

<p>[取組内容]</p> <p>●施設内は全館禁煙とします。</p> <p>●光熱水料費等の削減に努めます。</p> <p>●日々の業務遂行上、常に高い意識で無駄の無い運営を心がけます。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に従い適切に管理します。</p> <p>□電気使用量 23年度実績以下。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■業務の基準に従い取り扱いました。</p> <p>□電気使用量 対23年度1.3%減</p>
--	---	--

## 7 PDCA サイクルの確実な運用

### (1) 業務記録について

<p>[取組内容]</p> <p>●日報及び月報の作成・管理</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務日誌、月報、警備日誌、清掃日誌等を作成し記録します。</p> <p>■上記資料をもとに、モニタリング時に適切に対応します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■業務日誌、月報、警備日誌、清掃日誌等を作成し記録しました。</p> <p>■上記資料をもとに、モニタリング時に適切に対応しました。</p>
------------------------------------	---	--

### (2) 業務計画書及び業務報告書の作成・管理について

<p>[取組内容]</p> <p>●業務計画書及び業務報告書を作成し管理します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に従い作成、管理します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■業務の基準に従い作成し、管理しました。</p>
--	---	--

### (3)-1 業務評価（モニタリングの実施）について

<p>[取組内容]</p> <p>●毎月のモニタリングにおいて、利用状況、施設管理状況、問い合わせ・苦情等、毎月の管理運営状況について市に報告します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に従い実施します。</p> <p>■横浜市と課題ならびに成果を共有します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■業務の基準に従い実施しました。</p> <p>■横浜市と課題ならびに成果を共有しました。</p>
---	--	---

### (3)-2 業務評価（自己評価の実施）について

<p>[取組内容]</p> <p>●業務実績および利用者の満足度や意見を基に自己評価を行います。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に従い実施し、以降の業務改善につなげます。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■業務の基準に従い実施し、以降の業務改善につなげました。</p>
--	--	--

### (3)-3 業務評価（第三者による評価の実施）について

<p>[取組内容]</p> <p>●選定評価委員会による第三者評価に対応します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準ならびに横浜市との協議に基づき実施し、ヒアリングへの出席等を通じ以降の業務改善につなげます。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■業務の基準ならびに横浜市との協議に基づき実施し、ヒアリングへの出席等を通じ以降の業務改善につなげました。</p>
--	---	---

## 8 その他の計画 留意事項

### (1) 保険および損害賠償の取り扱い

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設賠償責任保険、動産総合保険、レジャー・サービス費用保険に加入します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■業務の基準別添資料に基づき、適切に対応します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■業務の基準別添資料に基づき、適切に対応しました。保険を利用する事例はありませんでした。</li> </ul>

### (2) 法令の順守と個人情報保護

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> <li>●法令を遵守し、個人情報保護に取り組めます。</li> <li>●財団主催の個人情報保護研修にスタッフが出席、受講します。</li> <li>●財団主催のコンプライアンス委員会、コンプライアンス研修にスタッフが出席、受講します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■横浜市個人情報保護条例等の関係法令、財団規程類、基本協定等に基づき適正に管理します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■横浜市個人情報保護条例に基づき適正に管理・保護に努めました。</li> <li>■財団主催の個人情報保護研修をスタッフが受講しました。</li> <li>■財団主催のコンプライアンス委員会、横浜市主催のコンプライアンス研修、財団主催のコンプライアンス研修にスタッフが出席しました。財団主催のコンプライアンス研修は全員が受講しました。</li> </ul>

### (3) 情報公開への積極的取り組み

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業計画や記者発表資料などを財団ホームページにて公開します。</li> <li>●情報開示請求については、財団の規程に従い、担当部署を通して対応します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■横浜市の保有する情報の公開に関する条例の趣旨に則り、規程類、基本協定等に基づき適正に取り組めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■横浜市の保有する情報の公開に関する条例の趣旨に則り、規程類、基本協定等に基づき適正に取り組めました。</li> </ul>

### (4) 市及び関係機関等との連絡調整

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> <li>●市及び関係機関等との情報交換や業務の調整に努めます。重要な案件・緊急な案件については、随時横浜市・財団事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■業務の基準、基本協定等に従い、適切に対応します。</li> <li>■市の要求に応じた資料の提出等 随時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■業務の基準、基本協定等に従い、適切に対応しました。</li> <li>■市の要求に応じて資料を随時提出しました。</li> <li>■TICAD の警備への協力で、戸部警察署より感謝状を贈呈されました。</li> </ul>

<p>務局に報告・協議し、適切な処理を心がけます。</p>		<p>■防災への協力で、西消防署より感謝状を贈呈されました。</p>
-------------------------------	--	------------------------------------

(5) その他

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●適切な許認可及び届出等</li> <li>●施設の目的外使用</li> <li>●名札の着用</li> <li>●人権の尊重</li> <li>●近隣対策</li> <li>●書類の管理</li> <li>●行政機関が策定する基準等の遵守</li> <li>●法律の制定及び改正への対応</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に基づき適切に対応します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■業務の基準に基づき適切に運営を行いました。</p>
--	--	--



## 9 収支決算額について

### 収支決算書

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
<b>収入</b>				
指定管理料収入	170,000,000	170,000,000	0	
利用料金収入	16,000,000	16,098,900	98,900	
事業収入	40,000,000	35,979,305	▲4,020,695	
その他収入	100,000	2,417,948	2,317,948	
<b>合計</b>	<b>226,100,000</b>	<b>224,496,153</b>	<b>▲1,603,847</b>	

<b>支出</b>				
人件費	71,354,000	68,321,810	▲3,032,190	
事務費	20,016,000	19,396,956	▲619,044	
管理費	76,530,000	65,611,312	▲10,918,688	
事業費	58,200,000	56,533,640	▲1,666,360	
<b>合計</b>	<b>226,100,000</b>	<b>209,863,718</b>	<b>▲16,236,282</b>	

<b>収支差額</b> (収入-支出)	<b>0</b>	<b>14,632,435</b>	<b>14,632,435</b>	
------------------------	----------	-------------------	-------------------	--